

# 日本比較教育学会 第49回大会プログラム

*Japan Comparative Education Society*  
*The 49th Annual Conference*

日時：2013年7月5日(金)～7日(日)

場所：上智大学四ツ谷キャンパス

主催：日本比較教育学会

共催：上智大学

上智大学総合人間科学部教育学科

《 大 会 日 程 》

	7月5日(金)	7月6日(土)	7月7日(日)
8:00		8:00～ 受付 (11号館1階)	8:00～ 受付 (11号館1階)
9:00		9:00～11:30 自由研究発表 I 11号館	9:00～11:30 自由研究発表 III 11号館
10:00		I - 1(209) I - 2(215) I - 3(221) I - 4(305) I - 5(311) I - 6(405) I - 7(411) I - 8(419) I - 9(505) I - 10(511) I - 11(519)	III - 1(209) III - 2(215) III - 3(221) III - 4(305) III - 5(311) III - 6(405) III - 7(411) III - 8(419) III - 9(505) III - 10(511) III - 11(519)
11:00	11:30 受付 (2号館5階510室)	11:40～12:30 紀要編集委員会 (11号館3階-326)	11:30～12:30 昼食
12:00	12:30-14:00 常任理事会 (2号館5階510室)	12:30～14:30 自由研究発表 II (11号館)	12:30～14:30 自由研究発表 IV 11号館
13:00		II - 1(209) II - 2(215) II - 3(221) II - 4(305) II - 5(311) II - 6(405) II - 7(411) II - 8(419) II - 9(511) II - 10(519)	IV - 1(209) IV - 2(215) IV - 3(221) IV - 4(305) IV - 5(311) IV - 6(405) IV - 7(411) IV - 8(511) IV - 9(519)
14:00	14:15-17:30 全国理事会 (2号館5階510室)		
15:00		15:00-17:15 公開シンポジウム (10号館講堂)	14:45-17:15 課題研究 I (4号館195室)
16:00			課題研究 II (3号館123室)
17:00	17:00 受付 (11号館1階)		
18:00	18:00-20:00 ラウンドテーブル 11号館 RT1(603) RT2(606) RT3(609) RT4(612) RT5(615) RT6(618) RT7(511) RT8(519) RT9(411)	17:30-18:30 総会 (10号館講堂)	
		18:45-20:30 懇親会 (2号館5階学生食堂)	

## 大会参加者へのご案内

### 1 受付

11号館1階で、午前8時00分より行います。会場配置図をご参照ください。  
(5日午後の常任・全国理事会受け付けは、2号館5階510室(理事会会場)にて行います。)

### 2 大会参加費等

大会参加費は、正会員・臨時会員 5,000 円(事前申し込み 4,000 円)、学生会員 4,000 円(事前申し込み 3,000 円)、懇親会費は、正会員・臨時会員は 4,500 円(事前振込 4,000 円)、学生会員は 3,500 円(事前申し込み 3,000 円) となります。事前申し込みは6月21日までです。  
事前申し込み受け付けは6月21日までに以下のサイトから受け付けております。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JCES>

※ 学会年会費の納入につきましても、受付を設けます。

### 3 大会本部

11号館2階205室に設置します。

### 4 会員控室

11号館3階320室をご利用ください。  
6日(土)は、11号館地下カフェテリアが11時から15時まで開いています。

### 5 託児室

ご利用は部屋をご用意いたしますので各自の責任でご利用いただく形となります。事前申し込みが必要ですので、詳細は大会事務局(jces49sophia@gmail.com)にお問い合わせください。

### 6 常任理事会・全国理事会・紀要編集委員会

常任理事会(7月5日午後12時30分開始)・全国理事会(7月5日午後2時15分開始)は2号館5階510室で行います。

紀要編集委員会(7月6日午前11時40分開始)は11号館3階326室で行います。

### 7 大会期間中の昼食およびコンビニエンスストア

昼食マップ(受付で配布)をご参照ください。  
なお、7日は大学食堂及び周辺の飲食店が閉店しているところが多いためご注意ください。  
7日にお弁当を希望される方は6月21日までにウェブサイト(上記)よりお申込みください。  
コンビニエンスストアが12号館地下(セブンイレブン(金・土)10時~20時、(日)10時~17時)にございます。

### 8 懇親会会場

2号館5階学生食堂で7月6日午後6時45分より行います。

## 自由研究発表について

### 1 発表時間

個人研究発表の時間は、発表20分、質疑10分の計30分となります。共同研究発表の場合は、30分(発表20分、質疑10分)もしくは60分(発表40分、質疑20分:事前に申込されたグループのみ)です。各部会での総括討論はありません。発表者も移動していただいて結構です。  
なお、各発表の間には休憩時間を設けておりませんので、ご注意ください。

### 2 発表資料

発表の際に配布する資料は、あらかじめご用意の上、各会場係にお渡しください。会場係が配布いたします。なお、会場でのコピーのご要望には応じられませんので、ご了承ください。

### 3 発表用機器

パソコンは各自ご持参・ご準備くださいますよう、お願い申し上げます。なお、Mac機用のコネクターはご自身でご準備くださいますよう、お願いいたします。また会場ではWiFiが使用できませんのであらかじめご了承ください。

### 4 発表取り消しの場合

速やかに大会事務局にご連絡下さい。なお、発表取消の場合、時間の繰上げは行いません。  
日本比較教育学会第49回大会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1- 上智大学総合人間科学部教育学科

Tel: 003-3238-3593 Fax:03-3238-3980 E-mail: jces49sophia@gmail.com

緊急連絡先(大会当日のみ) 070-5468-5051

## 自由研究発表

7月6日(土) 自由研究発表 I		7月7日(日) 自由研究発表 III	
<b>(午前)9:00~11:30</b>	11号館	<b>(午前)9:00~11:30</b>	11号館
I-1 北アメリカ(1)	209	III-1 ヨーロッパ(2)	209
I-2 東アジア(1)	215	III-2 北アメリカ(2)	215
I-3 東南アジア(1)	221	III-3 南アジア	221
I-4 初等・中等教育(1)	305	III-4 初等・中等教育(2)	305
I-5 高等教育(1)	311	III-5 高等教育(3)	311
I-6 教師教育・教員問題	405	III-6 国際教育・教育交流(2)	405
I-7 教育の機会	411	III-7 開発と教育(2)	411
I-8 教育改革・教育計画(1)	419	III-8 教育改革・教育計画(2)	419
I-9 Southeast Asia (1)	505	III-9 多文化教育とシチズンシップ	505
I-10 Higher Education (1)	511	III-10 Africa	511
I-11 Multicultural Education and Language	519	III-11 Higher Education (2)	519
7月6日(土) 自由研究発表 II		7月7日(日) 自由研究発表 IV	
<b>(午後)12:30~14:30</b>	11号館	<b>(午後)12:30~14:30</b>	11号館
II-1 ヨーロッパ(1)	209	IV-1 ヨーロッパ(3)	209
II-2 アフリカ(1)	215	IV-2 アフリカ(2)	215
II-3 幼児教育	221	IV-3 東アジア(2)	221
II-4 高等教育(2)	305	IV-4 東南アジア(2)	305
II-5 宗教と教育	311	IV-5 高等教育(4)	311
II-6 多国間比較	405	IV-6 理論・思想・歴史	405
II-7 国際教育・教育交流(1)	411	IV-7 国際教育・教育交流(3)	411
II-8 開発と教育(1)	419	IV-8 Southeast Asia (2)	511
II-9 East Asia	511	IV-9 Development and Education	519
II-10 International Issues	519		

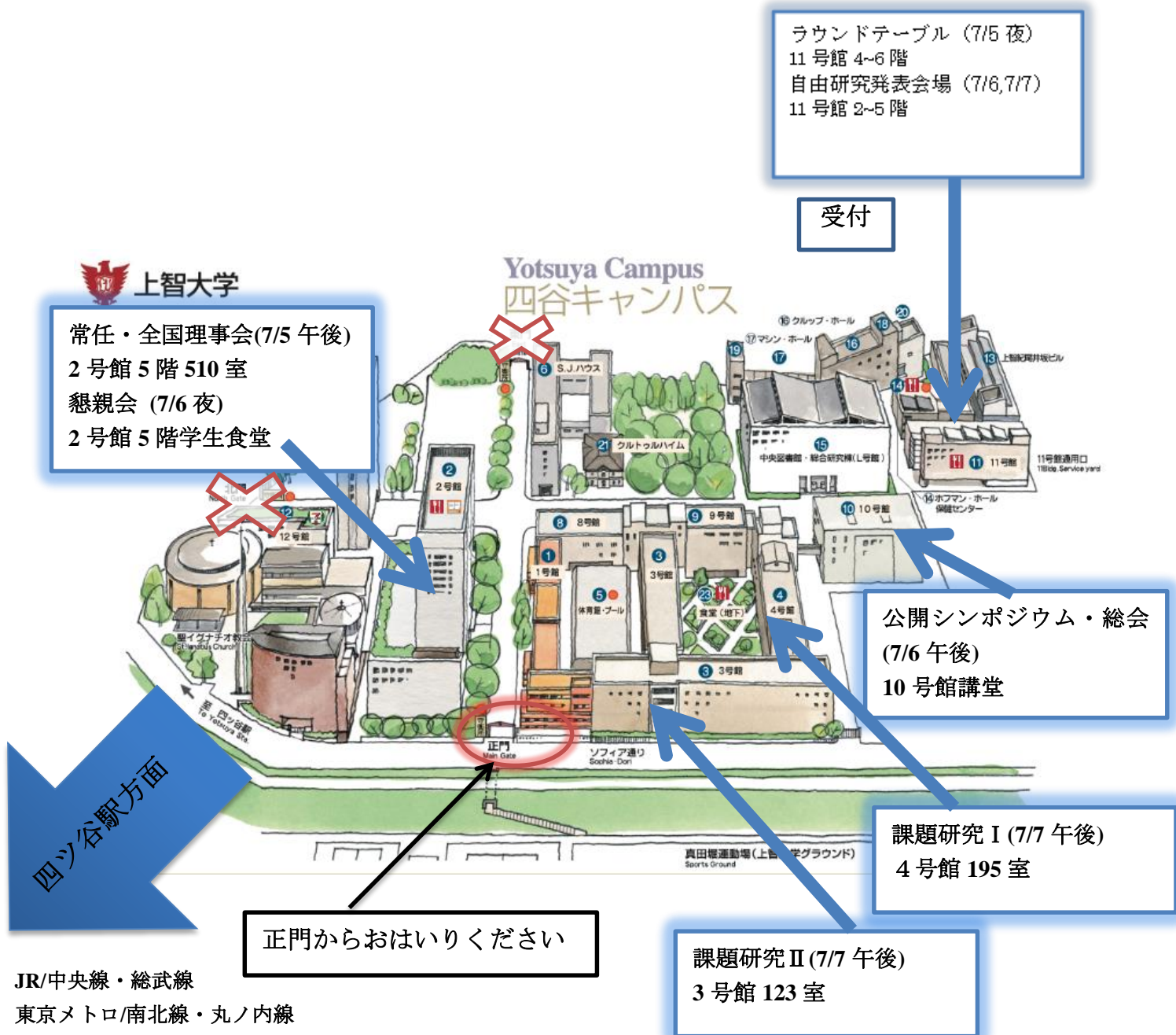
## 課題研究・シンポジウム

7月6日(土) 15:00~17:15	7月7日(日) 14:45~17:15				
<b>公開シンポジウム</b> アジアの大学と国際連携	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 75%; border-right: 1px dotted black; padding-right: 5px;"> <b>課題研究 I</b>                              持続可能な社会と若者の参加                         </td> <td style="width: 25%; text-align: center; vertical-align: top;">4号館195室</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding-right: 5px;"> <b>課題研究 II</b>                              正規・非正規教育の接点(グレーゾーン)に関する国際動向                         </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">3号館123室</td> </tr> </table>	<b>課題研究 I</b> 持続可能な社会と若者の参加	4号館195室	<b>課題研究 II</b> 正規・非正規教育の接点(グレーゾーン)に関する国際動向	3号館123室
<b>課題研究 I</b> 持続可能な社会と若者の参加	4号館195室				
<b>課題研究 II</b> 正規・非正規教育の接点(グレーゾーン)に関する国際動向	3号館123室				
10号館講堂					

# 上智大学四ツ谷キャンパスのご案内

JR 中央線・総武線、東京メトロ南北線・丸ノ内線「四ツ谷駅」より徒歩5分。  
駅から大学までの地図は以下のサイトよりご覧いただけます。

[http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access\\_yotsuya](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya)



# ラウンドテーブル

2013年7月5日（金） 18：00 - 20：00

**ラウンドテーブル1 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室:11-603**

東アジアにおける次世代育成の意識変化

ー日本、台湾、中国の少子化がもたらしたものー

企画者: 塘 利枝子 (同志社女子大学) 翁 麗芳 (國立台北教育大學)

司会者: 塘 利枝子 (同志社女子大学)

発表者: 塘 利枝子 (同志社女子大学) 可部 繁三郎 (日本経済研究センター)

葉 郁菁 (國立嘉義大學) 翁 麗芳 (國立台北教育大學)

内容説明: 日本、台湾、中国では超少子化時代に入っているが、少なくなった子どもたちに対する養育、保育、教育への期待はますます高まっている。マクロの出生状況と政策転換を踏まえて、その中で生きる人々の次世代育成の意識変化や次世代に関わる教師の養成について、少子化をキーワードとしながら議論したい。

**ラウンドテーブル2 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室:11-606**

西ヨーロッパ諸国における外国人児童生徒の教育

ー外国人の受け入れから第2世代以降の学力保障に向けた比較研究ー

企画者: 園山 大祐 (大阪大学)

司会者: 園山 大祐 (大阪大学)

発表者: 小山 晶子 (東京外国語大学・非常勤) 布川 あゆみ (一橋大学大学院)

杉田 かおり (筑波大学) 見原 礼子 (同志社大学)

コメンテータ: 池田 賢市 (中央大学)

内容説明: 我が国でも90年代以降より外国人の教育問題について定期的に報告がされてきた。ここでは、OECDやEUにおける国際比較研究を踏まえつつ、西欧各国の外国人の受け入れ制度の状況把握とともに、定住化した移民2世以降の学力の保障に至るまでの経緯とその課題について議論を行う。

**ラウンドテーブル3 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室:11-609**

比較教育学と韓国研究ー方法論と課題ー

企画者: 田中 光晴 (東北大学)

樋口 謙一郎 (椋山女学園大学)

司会者: 樋口 謙一郎 (椋山女学園大学)

発表者: 石川 裕之 (畿央大学)

嶋内 佐絵 (日本学術振興会・上智大学)

田中 光晴 (東北大学)

内容説明: グローバル社会における韓国の位置、および地域研究としての韓国研究は、比較教育学の発展にいかん貢献するか。このテーブルでは、韓国における高等教育の国際化、私教育、才能教育などを切り口として、その研究手法、焦点および研究動向を俯瞰した上で、「韓国の教育の研究」が比較教育学にいかん寄与をなすかについて議論を深めたい。

災害復興と教育交流

企画者: 杉村 美紀 (上智大学)

司会者: 丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

発表者: 西井 麻美 (ノートルダム清心女子大学) 大倉 健太郎 (大阪女子短期大学)

岡本 弘子 (北陸学院大学) 吉野 舞起子 (Teachers College, Columbia University)

内容説明: 震災から2年半近くとなった今日、復興の過程でのコミュニティの再生とそれを支える人々の教育や交流の意義が注目されている。本企画では昨年のラウンドテーブルでの討議を受け、海外の事例との比較もふまえながら、災害が地域コミュニティや教育にどのような影響を与え、逆に復興の過程で教育交流がコミュニティの再生や再構築にどのような役割を担っているのについて考える。

東南アジア地域研究と比較教育学—まちの「過去」から考える(2)—

企画者: 中田 有紀 (東洋大学)

司会者: 西野 節男 (名古屋大学)

発表者: 市川 誠 (立教大学)

中矢 礼美 (広島大学)

服部 美奈 (名古屋大学)

森下 稔 (東京海洋大学)

中田 有紀 (東洋大学)

小林 忠資 (愛知教育大学)

内容説明: まちの歴史と人々の移動、「過去」への記憶は、制度的な教育の営みとどのように関わっているのだろうか。本ラウンドでは、マレー世界とその周辺のいくつかの町におけるローカルな歴史や人々の「過去」と制度的教育の営みとの関係について、昨年の議論を発展させつつ、教育の地域研究および比較研究の可能性を多角的に議論する。

アジアの教員政策と教員評価

企画者: 小川 佳万 (東北大学)

司会者: 小川 佳万 (東北大学)

発表者: 松本 麻人 (文部科学省)

鴨川 明子 (山梨大学)

大和 洋子 (東洋英和女学院大学・非常勤)

小野寺 香 (東北大学)

金井 里弥 (東北大学大学院)

内容説明: 現在、アジア各国・地域において様々な教育改革が積極的に展開されているが、その成功の鍵として教員の資質向上に関心を寄せている点は多くの国・地域に共通している。そして、そのための重要な施策の一つとして、教員評価制度が各国で導入されている。本ラウンドテーブルでは、アジアの各国・地域で導入されている教員評価の仕組みを具体的に報告していきながら、共通の課題について議論していくことにしたい。



**ラウンドテーブル7 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室: 11-511**

日本の教員養成・研修の文化は発展途上国に定着可能か

—発展途上国の内発的持続的発展を担う次世代育成システムの改善課題—

企画者: 丸山 恭司 (広島大学)

司会者: 丸山 恭司 (広島大学)

発表者: 岡村 美由規 (広島大学大学院)

小野 由美子 (鳴門教育大学)

小澤 大成 (鳴門教育大学)

内容説明: 発展途上国が内発的持続的に発展できるよう、日本の教員養成・研修の文化を紹介し定着を図る取り組みが各地域で試みられている。本ラウンドテーブルでは、アジア・アフリカ・中南米における取り組みを報告し、比較検討する。これにより、それぞれの課題を確認するとともにリソースの共有を目指す。

**ラウンドテーブル8 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室: 11-519**

途上国におけるインクルーシブ教育の比較研究

—障がい児教育を中心に—

企画者: 川口 純 (JICA 研究所)

司会者: 黒田 一雄 (早稲田大学)

発表者: 川口 純 (JICA 研究所)

櫻井 里穂 (広島大学)

古田 弘子 (熊本大学)

日下部 達哉 (広島大学)

西向 堅香子 (広島大学)

小原 優貴 (日本学術振興会・早稲田大学大学院)

指定討論者: 北村友人 (東京大学)

西村幹子 (国際基督教大学)

内容説明: 近年、特殊教育や統合教育に代わり、「インクルーシブ教育」が障がい児教育の国際的な潮流になっている。本企画ではスリランカ、インド、ブータン、シエラレオネ、マラウイを事例に、各国のインクルーシブ教育を比較、検証する。経済状況や障がい観など異なる社会背景を踏まえ、当該政策が如何に受容されているのか、現地調査を基に報告する。

**ラウンドテーブル9 7月5日(金) 18:00-20:00**

**教室: 11-411**

How to Improve Quality of Education: Focused on Early Grade Reading Assessment (EGRA)

Planner: Keiichi Ogawa, Kobe University

Chairperson: Keiichi Ogawa, Kobe University

Presenters: Eduardo Velez Bustillo, Kobe University

Aiko Sakurai, Kobe University

James Wokadala, Kobe University

Shiro Nakata, Kobe University, PADECO Co. Ltd.

Summary: Middle class students learn to read early on; however, children from low income families do not because they do not get the inputs, resources, environment, etc., they need to learn. Students from low-income families are not learning how to read at the proper age and this will affect negatively the rest of their lives. This roundtable will discuss how education systems can improve the reading skills of such students.

# 自由研究発表 I

2013年7月6日(土) 9:00 - 11:30

---

自由研究発表 I-1

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-209

北アメリカ(1)

司会: 大倉 健太郎(大阪女子短期大学)

- 9:00-9:30 米国チャータースクールの普及要因分析 洞庭 佳江(東北大学大学院)
- 9:30-10:00 「学校力」を高めるキャパシティ・ビルディングに基づく学校改善の検討  
黒田 友紀(静岡大学)
- 10:00-10:30 アメリカ道德教育史からみた人格形成の現況 宮本 浩紀(早稲田大学大学院)
- 10:30-11:00 米国における補習政策の背景と展開—学校外部に目を向けた格差縮小の試み  
森 いづみ(立教大学)
- 11:00-11:30 アメリカにおける教員評価モデルに関する考察  
小川 佳万(東北大学) 小野寺 香(東北大学) 杉浦 慶子(元東北大学大学院)
- 

自由研究発表 I-2

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-215

東アジア(1)

司会: 金 泰勲(国立教育政策研究所)

- 9:00-9:30 公教育における多文化教育—韓国の多文化教育研究学校を事例に  
李 承赫(一橋大学大学院)
- 9:30-10:00 モンゴルにおける教科書制度に関する現状と課題  
—教科書と子ども・教員をとりまく環境に焦点をあてて  
高橋 梢(東京外国語大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
- 10:00-10:30 戦争と教科書—朝鮮戦争における戦時教材について  
朴 貞蘭(大分県立芸術文化短期大学)
- 10:30-11:00 文革期における国民教育の特質—中等教育の国語教科書を中心に  
陳 志華(中央大学大学院)
- 11:00-11:30 韓国の学生人権条例は定着するか—京畿道学生人権条例を中心に(2)  
出羽 孝行(龍谷大学)
- 

自由研究発表 I-3

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-221

東南アジア(1)

司会: 前田 美子(大阪女学院大学)

- 9:00-9:30 ラオスにおける初等教育行政の実態と問題点—東北タイとの比較から  
平良 那愛(京都女子大学大学院)
- 9:30-10:00 東南アジア諸国における学校を基盤とする経営に関する研究  
—タイ・カンボジア・インドネシアを事例として  
正楽 藍(香川大学)
- 10:00-10:30 カンボジアの小学校における学校支援委員会の役割 江田 英里香(八洲学園大学)
- 10:30-11:00 カンボジアの「子ども中心」の教授法改革に対する教師の反応  
—改革が内包する矛盾と教師の主体性に注目して  
荻巢 崇世(ミシガン州立大学)
- 11:00-11:30 カンボジア前期中等教育にみる二つの市民像 羽谷 沙織(立命館大学)
-

---

自由研究発表 I-4

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-305

**初等・中等教育(1)**

司会: 長濱 博文(九州女子大学)

- 9:00-9:30 フィジー中高生の数学に対する意識と学力の現状について 石坂 広樹(鳴門教育大学)
- 9:30-10:00 フィリピンにおける中等教育制度改革の現状—K to 12 教育計画に焦点をあてて  
石田 憲一(長崎純心大学)
- 10:00-10:30 質の高い教育の保障に向けての民間初等教育の役割に関する比較研究  
—インド、中国の事例をもとに 渋谷 英章(東京学芸大学) 李 紅実(東京学芸大学)
- 10:30-11:00 タイの基礎教育における新カリキュラムの導入—改革の特色と背景の探求  
森下 稔(東京海洋大学) 鈴木 康郎(高知県立大学)
- 11:00-11:30 香港の中等教育公的試験制度— ストリートリング試験から6年間の中等教育修了資格試験へ  
大和 洋子(東洋英和女学院大学・非常勤)
- 

自由研究発表 I-5

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-311

**高等教育(1)**

司会: 杉本 和弘(東北大学)

- 9:00-9:30 オーストリアの専門大学設立に OECD が及ぼした影響について  
—Alternatives To Universities の分析を中心に 田中 達也(川口短期大学)
- 9:30-10:00 Plan Réussite en Licence (学士課程成功計画) の現在  
—フランスの大学と”ペダゴジー” 田川 千尋(大阪大学)
- 10:00-10:30 ボローニャ・プロセスとコペンハーゲン・プロセス  
—ドイツの事例を中心にして 木戸 裕(上智大学・非常勤講師)
- 10:30-11:00 英国の大学における生涯学習機能の変遷に関する一考察  
—ウォーリック大学の事例を中心に 鈴木 尚子(徳島大学)
- 11:00-11:30 大学の組織構造と役職者のリーダーシップに関する日米の比較考察  
吉永 契一郎(東京農工大学)
- 

自由研究発表 I-6

7月6日(土) 9:00-11:00

教室: 11-405

**教師教育・教員問題**

司会: 小野 由美子(鳴門教育大学)

- 9:00-9:30 多文化社会における教師の専門性 —オーストラリアの「教職スタンダード」を手がかりとして  
本柳 とみ子(神奈川県立国際言語文化アカデミア)
- 9:30-10:00 住民参加型の学校運営が教員に与える影響について—ニジェールのティラベリ州を事例に  
川口 純(JICA 研究所)
- 10:00-10:30 ラテンアメリカ地域における教員問題  
—「教育の質」の向上と教員を取り巻く環境の改善を目指した取り組み  
鈴木 賀映子(帝京大学)
- 10:30-11:00 教師の職能成長における制度と自律性  
—ウガンダ中等理科強化全国展開(SESEMAT)プログラムを事例に 石原伸一(国際協力機構)
-

---

自由研究発表 I-7

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-411

**教育の機会**

司会: 西井 麻美 (ノートルダム清心女子大学)

- 9:00- 9:30 現代中国における親の教育戦略と社会階層 —浙江省慈溪市の事例研究  
馬 芳芳 (お茶の水女子大学大学院)
- 9:30-10:00 学校教育における公正と卓越性の両立—オーストラリアの才能教育の事例から  
伊井 義人 (藤女子大学) 青木 麻衣子 (北海道大学)
- 10:00-10:30 ブラジルの公教育における「土地なし農民運動」(MST) 学校の成立背景  
田村 徳子 (京都大学大学院)
- 10:30-11:00 ブラジルの公立大学におけるアフターマティブ・アクション政策の導入に関する一考察  
山口 アンナ真美 (北海道教育大学・非常勤)
- 11:00-11:30 ロシア連邦における外国籍の子どもの就学保障  
—モスクワ市とサンクトペテルブルク市を事例に ミソチコ・グリゴリー (筑波大学大学院)
- 

自由研究発表 I-8

7月6日(土) 9:00-11:00

教室: 11-419

**教育改革・教育計画(1)**

司会: 末藤 美津子 (東洋学園大学)

- 9:00- 9:30 Charter Management Organizations(CMOs)が及ぼすチャータースクールへの影響  
—カリフォルニア州を事例として 寶來 敬章 (高田短期大学)
- 9:30-10:00 ニューヨーク市における学力格差是正にむけた就学前教育改革  
—EarlyLearn によるヘッドスタート・プレキンダーガーデン・民間チャイルドケアの統合  
深堀 聡子 (国立教育政策研究所)
- 10:00-11:00 教育プログラムとしての「バカレア」の多種多様性—イギリスにおける現状と課題  
柳田 雅明 (青山学院大学) 飯田 直弘 (九州大学)  
花井 渉 (九州大学大学院) 岩崎 久美子 (国立教育政策研究所)
- 

自由研究発表 I-9

7月6日(土) 9:00-11:30

教室: 11-505

**Southeast Asia (1)**

Chairperson: Akiko Kamogawa (Yamanashi University)

- 9:00- 9:30 An Analysis of the Relationship between School Inputs and Student Achievement in  
Cambodian Primary Schools  
Mari Takeshita (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 9:30-10:00 Student-Centered Approach in Cambodian Primary School Classrooms  
Song Sopheak (Graduate Student, Hiroshima University)
- 10:00-10:30 Financing of Education in Indonesia: After the Decentralization  
Zahar Angga Setiawan(Kobe University)
- 10:30-11:00 The Impact of Obtaining Multiple Major on Earning: Evidence from Laos  
Viriyasack SISOUPHANTHONG (Doctoral student at Kobe University)
- 11:00-11:30 Access and Quality of Higher Education: Case of Lao PDR  
Keiichi Ogawa (Kobe University)
-

**Higher Education (1)**

Chairperson: Akiyoshi Yonezawa (Nagoya University)

- 9:00— 9:30 An Analysis on Quality of Higher Education in Lao PDR  
—Case of Public Universities under Ministry of Education and Sports  
Vangchue Vangxaolee (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 9:30—10:00 International Branch Campuses in the United Arab Emirates and Qatar  
—Commonalities, Differences and Open Questions  
Shingo Hanada (Ehime University)
- 10:00—10:30 Global Support Internship for Exchange Students in a Japanese University  
—Japanization of Foreign Interns or Globalization of the Local Society  
Naomi Tsunematsu (Hiroshima University)
- 10:30—11:00 How Taiwanese Undergraduates Perceive the Short-Term Overseas Study Programs  
Ho Hsuan-Fu (National Chiayi University, Taiwan)
- 11:00—11:30 The Dual Tuition Policy of Public and Private Universities in Taiwan: The challenge faced  
Wang Ru-Jer (National Taiwan Normal University)
- 

**Multicultural Education and Language**

Chairperson: Wu-Hsun Yang (National Chi Nan University)

- 9:00— 9:30 Empowering Minorities through Education  
Eduardo Velez Bustillo (Kobe University)
- 9:30—10:00 Causes of Enrollment Decline at Under-Enrolled Chinese Public Primary Schools: A Case of Penang  
Kek Lay See (Kobe University)
- 10:00—10:30 Strategic Planning for Enhancing Students' Motivation in Learning English  
Yu-Shiuan Yang (National Chiayi University, Taiwan)  
Shan-Hua Chen (National Chiayi University, Taiwan)
- 10:30—11:00 The Influences of Family Support Environment on Children's Attitudes of Learning Heritage  
Language at the International Marriage Families in Taiwan  
Yeh Yu-Ching (National Chiayi University, Taiwan)
-

## 自由研究発表 II

2013年7月6日(土) 12:30 - 14:30

---

自由研究発表Ⅱ－1

7月6日(土) 12:30－14:30

教室: 11－209

ヨーロッパ(1)

司会: 渡辺 あや(熊本大学)

- 12:30－13:00 欧州における言語教育政策の動向と課題 鶴田 洋子(明治学院大学・非常勤)
- 13:00－13:30 デンマーク教育におけるオラリティーの諸相－オラリティー教育の意義と可能性 児玉 たまみ(早稲田大学大学院)
- 13:30－14:00 スウェーデンの教育改革における学校内組織の変容過程  
－1960年代から80年代の「活動チーム」モデルの形成と普及に着目して 林 寛平(日本学術振興会・特別研究員)
- 14:00－14:30 スウェーデンにおける大学生の学習成果とその評価方法に関する考察 武 寛子(京都大学・日本学術振興会・特別研究員)
- 

自由研究発表Ⅱ－2

7月6日(土) 12:30－14:00

教室: 11－215

アフリカ(1)

司会: 吉田 和浩(広島大学)

- 12:30－13:00 イギリス中等教育におけるアフリカ地域脱植民地化に関する教科書記述の分析 山崎 瑛莉(上智大学大学院)
- 13:00－13:30 日本における研修を通じた校内研修への授業研究の導入－カメルーン国中等学校の事例 小澤 大成(鳴門教育大学) 石村 雅雄(鳴門教育大学)
- 13:30－14:00 基礎教育の質改善に向けて: イエメンの事例研究 結城 貴子(JICA 研究所) 亀山 友理子(JICA 研究所)
- 

自由研究発表Ⅱ－3

7月6日(土) 12:30－14:30

教室: 11－221

幼児教育

司会: 一見 真理子(国立教育政策研究所)

- 12:30－13:00 モンゴルにおける幼児教育の量的拡大施策－チャイルド・ケア・サービス(案)の考察 ミヤグマル・アリウントヤ(一橋大学)
- 13:00－13:30 ヨルダン・ハシェミット王国における幼児教育の現状  
－被援助国として発展途上にある保育 小山 祥子(駒沢女子短期大学)
- 13:30－14:00 カンボジアにおけるコミュニティープレスクールと小学校就学 三輪 千明(倉敷市立短期大学)
- 

自由研究発表Ⅱ－4

7月6日(土) 12:30－14:30

教室: 11－305

高等教育(2)

司会: 上別府 隆男(東京女学館大学)

- 12:30－13:00 大学における文学/作者の創造  
－英国イースト・アングリア大学クリエイティブ・ライティングコースを例に 高橋 まりな(名古屋大学大学院)
- 13:00－13:30 米国の Alumni Studies の現在－SNAAP と B&B を切り口に 江原 昭博(関西学院大学)
- 13:30－14:30 ポスト・ボイヤーのスカラシップ論 間篠 剛留(慶應義塾大学大学院) 原 圭寛(慶應義塾大学大学院)  
翟 高燕(慶應義塾大学大学院) 塔 娜(慶應義塾大学大学院)
-



---

自由研究発表Ⅱ—5

7月6日(土) 12:30-14:30

教室: 11-311

**宗教と教育**

司会: 服部 美奈 (名古屋大学)

12:30-13:00 ペルーにおけるカトリック系国際 NGO の貧困層に対する学校教育  
—フェ・イ・アレグリアを事例に

工藤 瞳(京都大学大学院)

13:00-13:30 バングラデシュの非正規宗教校コウミマドラサによる教育開発事例研究

日下部 達哉(広島大学)

13:30-14:00 現代マレーシアにおける伝統的イスラーム学習の復興

久志本裕子(日本学術振興会)

14:00-14:30 ジョン・マイヤーの世界システム論と教育そして宗教的背景

浅沼 茂(東京学芸大学)

---

自由研究発表Ⅱ—6

7月6日(土) 12:30-14:30

教室: 11-405

**多国間比較**

司会: 森下 稔 (東京海洋大学)

12:30-13:00 学力格差の国際比較 —TIMSS 2011 から見る Heyneman-Loxley(H-L)効果

垂見 裕子(早稲田大学)

13:00-13:30 途上国の授業文化に関する研究—日本の算数授業観との比較による再検討

小野 由美子(鳴門教育大学) 中村 聡(広島大学)

前田 美子(大阪女学院大学) 近森 憲助(鳴門教育大学)

13:30-14:30 教科書にみる市民性教育—ブルネイ・インドネシア・ラオスの比較より

鴨川 明子(山梨大学) 中田 有紀(東洋大学)

乾 美紀(兵庫県立大学)

---

自由研究発表Ⅱ—7

7月6日(土) 12:30-14:00

教室: 11-411

**国際教育・教育交流(1)**

司会: 杉村 美佳 (上智大学短期大学部)

12:30-13:00 中国の公立小中学校における外国籍児童・生徒の受け入れに関する一考察  
—北京市に着目して

馬 璨婧(筑波大学大学院)

13:00-13:30 「国際理解教育」から「持続可能な開発のための教育」へ  
—日本の学習指導要領にみる「国際教育」の変遷と展開

米原 あき(明治大学)

13:30-14:00 人権教育における「平等」概念の比較研究

馬場 智子(千葉大学)

---

自由研究発表Ⅱ—8

7月6日(土) 12:30-14:00

教室: 11-419

**開発と教育(1)**

司会: 浜野 隆 (お茶の水女子大学)

12:30-13:00 ウガンダにおける教育の収益率

松尾 寛子(神戸大学大学院)

13:00-13:30 発展途上国の文脈における「親の学校参加」に関する理論的検討

岡村美由規(広島大学)

13:30-14:00 農村における質の高い教育を持続的に提供するための手法の模索  
—コロンビアのエスクエラヌエバとグラミンカルダスを事例として

鈴木 隆子(九州大学)

---

**East Asia**

Chairperson: Yoko Yamato (Toyo Eiwa University)

- 12:30—13:00 The Impact of China's Education Aid to Africa  
— From the Perspective of Capacity Development  
Yukiko Mita (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 13:30—14:00 How School Physical Teachers and College Students in Taiwan Select their Overseas Study  
Destination Countries  
Chien-Min Lee (National Chiayi University, Taiwan)  
Chin-Chiang Hsu (National Chiayi University, Taiwan)  
Hsuan-Fu Ho (National Chiayi University, Taiwan)
- 14:00—14:30 The study of curriculum policy and practices for new immigrant children in Taiwan  
Ming-Jane Chuang (Ming Dao University)  
Dorothy I-ru Chen (National Chi Nan University)
- 

**International Issues**

Chairperson: Naoshi Kira (Japan Professional School of Education)

- 12:30—13:00 Shifts and Transformation in Education: The Application of Dewey and Foucault in LLSC  
Approach  
Jiyong SEO (Utsunomiya University)
- 13:00—13:30 Educational Rights of Roma people (“Gypsies”): Intercultural approach at schools and integration issues  
in Greece  
Georgia Tsekoura (Osaka Jogakuin University)
- 13:30—14:00 Strategic Planning for Strengthening the Programs in an Arts Specialized high School  
Chao-Ming Lee (National Chiayi University, Taiwan)  
Yueh-Chun Huang (National Chiayi University, Taiwan)
- 14:00—14:30 Implementing International Education: Perspective of a Taiwan's Local Education  
Authority  
Ching-Hwa Tsai  
(Wenzao Ursuline College of Language, Taiwan)
-

## 公開シンポジウム

2013年7月6日（土） 15:00 - 17:15

日本比較教育学会第 49 回大会・上智大学 100 周年記念事業  
公開シンポジウム

## アジアの大学と国際連携

日時：2013 年 7 月 6 日（土） 午後 3 時～午後 5 時 15 分

場所：上智大学四ツ谷キャンパス 10 号館講堂

パネリスト

アジアにおける国際高等教育連携の可能性と課題  
—多層的な地域的枠組みと国際共同学位プログラムを中心に—

黒田一雄（早稲田大学）

アジア高等教育における透過性のある教育フレームワークと  
Asian Academic Credits (AACs)の可能性について

堀田泰司（広島大学）

アジアの高等教育連携構築における実践的課題  
—上智大学の取り組みを事例に—

音 好宏（上智大学）

司会

木戸 裕（元国立国会図書館） 齊藤泰雄（国立教育政策研究所）

趣旨

本シンポジウムは、近年、盛んに議論されるようになってきている国境を越える高等教育の国際連携について、理念や政策だけでなく、実際に各高等教育機関が連携を進めるにあたっての実践的課題に踏み込んで、具体的な共通教育フレームワーク構築の方途を探ることを目的とする。

高等教育の国際連携は、ここ最近、アジアにおいて、特に東南アジア諸国連合(ASEAN)や、東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)をはじめとする地域機構が、ASEAN 大学連合などの具体的なネットワーク組織を展開することでその重要性が認識され、政策文書や教育に関する提言等でも言及されることが多くなっている。しかしながら、国際連携の重要性や意義には触れるものの、実際の実践応用について踏み込んだ論議が十分に尽くされていない。具体的論点としては、国際連携に必要な不可欠な単位互換制度やカリキュラムの認証評価、質保証、ラーニングアウトカム、そしてそれらを支える教育機関相互の信頼性などであり、実践可能でかつ有効な枠組みが求められている。

本シンポジウムでは、そうした実践的課題の具体的検討と今後の連携システムの方向性を、アジア太平洋における既存の単位互換システムや、今後、SEAMEO や ASEAN が拡充を検討している国際連携システム、さらに大学の国際連携の事例から検討する。あわせて国際連携を行う際に生じる各国間の政策調整やナショナリズムの課題を考慮しながら、アジアにおける新たな共通教育フレームワーク構築の可能性を検討する。

## 自由研究発表 Ⅲ

2013年7月7日(日) 9:00 - 11:30

---

自由研究発表Ⅲー1	7月7日(日) 9:00-11:30	教室: 11-209
<b>ヨーロッパ(2)</b>		
司会: 園山 大祐 (大阪大学)		
9:00- 9:30	フランス歴史教育における集団的アイデンティティ形成とその現状 ーフランスの社会的枠組みの変化との対峙のなかで	平田 文子 (早稲田大学大学院)
9:30-10:00	フランスにおける移民の子どもに関する一考察 ー「出身言語・文化教育」プログラムに着目して	島埜内 恵 (筑波大学大学院)
10:00-10:30	ドイツの前期中等教育における学校制度改革ーバイエルン州の事例を中心に	栗原 麗羅 (上智大学大学院)
10:30-11:00	ドイツにおけるESDの理論的基盤に関する考察	ト部 匡司 (広島市立大学)
11:00-11:30	「参加」と「国籍」: 二つのシティズンシップを通じた統合ーイングランド/連合王国における シティズンシップ教育政策と移民政策の接点	杉田 かおり (筑波大学)

---

自由研究発表Ⅲー2	7月7日(日) 9:00-11:30	教室: 11-215
<b>北アメリカ(2)</b>		
司会: 宮崎 幸江 (上智大学短期大学部)		
9:00- 9:30	カナダの子育て支援政策ー親休業制度を中心に	犬塚 典子 (京都大学)
9:30-10:00	米国シカゴ市学校委員会の現状と課題ーインタビュー調査の報告を中心に	北野 秋男 (日本大学)
10:00-10:30	アメリカにおける連邦教育政策の現状と課題 ー初等中等教育法の再改定に関する政治的背景を中心に	吉良 直 (日本教育大学院大学)
11:00-11:30	ニューヨークにおける教員評価	末藤 美津子 (東洋学園大学)

---

自由研究発表Ⅲー3	7月7日(日) 9:00-11:30	教室: 11-221
<b>南アジア</b>		
司会: 日下部 達哉 (広島大学)		
9:00- 9:30	移住労働者の子どもに対するノンフォーマル教育 ーインド・マハラシュトラ州プネ市を事例にー	塩見 睦子 (神戸大学大学院)
9:30-10:00	インド・ビハール州における貧困層の中途退学問題に関する一考察 ー中途退学児童の親への聞き取り調査を中心として	河野 佐智 (神戸大学大学院)
10:00-10:30	インドの女性、教育、エンパワーメント ービハール州農村での質的調査より	野沢 恵美子 (東京大学)
10:30-11:00	1940~50年代のブータンにおける近代学校教育の諸相	平山 雄大 (早稲田大学)
11:00-11:30	チベット難民の教育問題ー「想像の共同体」は何処へ向かうのか?	榎井 克明 (神戸大学大学院)

---

---

自由研究発表Ⅲ—4

7月7日(日) 9:00—11:00

教室: 11—305

**初等・中等教育(2)**

司会: 岩崎 久美子(国立教育政策研究所)

- 9:00— 9:30 石巻市における復興・防災教育の実践 桜井 愛子(神戸大学)
- 9:30—10:00 英国独立学校と進学—日本の高等学校との比較をめぐる—考察 古阪 肇(早稲田大学)
- 10:00—10:30 ロシアの初等教育における言語教育と教育文化についての予備的研究  
伊藤 美和子(神戸大学・大阪大・佛教大学・非常勤)
- 10:30—11:00 ドイツにおける生徒参加と民主主義教育—バイエルン州の取り組みを中心に  
柳澤 良明(香川大学)
- 

自由研究発表Ⅲ—5

7月7日(日) 9:00—11:00

教室: 11—311

**高等教育(3)**

司会: 深堀 聰子(国立教育政策研究所)

- 9:00— 9:30 教員評価の視点から見た高等教育の質保証への取組の比較研究 小川 勤(山口大学)
- 9:30—10:00 日本における外国人留学生政策の転換 —高度人材受入れを中心に  
楊 武勳(台湾・国立暨南国際大学)
- 10:00—10:30 日本の大学の国際化と女子留学生の現状と課題—T大学の博士課程後期学生を中心に  
朴 賢淑(東北大学)
- 10:30—11:00 高等教育における保育者養成プログラム質保証の日欧比較—研究の枠組みを考える  
大佐古 紀雄(育英短期大学)
- 

自由研究発表Ⅲ—6

7月7日(日) 9:00—11:30

教室: 11—405

**国際教育・教育交流(2)**

司会: 井手 弘人(長崎大学)

- 9:00— 9:30 韓国の専門大学におけるグローバル人材育成 —永進専門大学の事例  
塚田 亜弥子(東京大学大学院)
- 9:30—10:00 日韓高等教育における英語による国際プログラムの比較  
嶋内 佐絵(日本学術振興会・特別研究員)
- 10:00—10:30 韓国、全羅北道における留学生受入れの取り組み  
—外国人留学生受入れ・管理能力認証制導入の影響 長島 万里子(洗足こども短期大学)
- 10:30—11:00 教育の国際化／留学生受入れによる地域活性化の取り組み: 韓国と日本の比較から  
佐藤 由利子(東京工業大学)
- 11:00—11:30 韓国在住の元国費留学生に対する日本留学経験の成果・効果・影響に関する一考察  
太田 浩(一橋大学) 上別府 隆男(東京女学館大学)  
塚田亜弥子(東京大学大学院)
-

---

自由研究発表Ⅲ—7

7月7日(日) 9:00—11:00

教室: 11—411

**開発と教育(2)**

司会: 小川 啓一(神戸大学)

- 9:00—9:30 ユネスコによる「識字の多元性」概念の提唱—その背景と意義を中心に  
河内 真美(筑波大学大学院)
- 9:30—10:00 ポスト2015の国際教育協力—ラオスにおけるESD支援事業の成果と課題  
斉藤 美貴(元・聖心女子大学大学院) 永田 佳之(聖心女子大学)
- 10:00—10:30 アイゼンハワー政権期における対ラテンアメリカ技術援助の様態—教育援助を中心に  
江原 裕美(帝京大学)
- 10:30—11:00 日本の教育経験の教育開発への教訓—戦前の教員研修制度と実践から何が学べるか  
黒田 則博(広島大学)
- 

自由研究発表Ⅲ—8

7月7日(日) 9:00—11:30

教室: 11—419

**教育改革・教育計画(2)**

司会: 内海 成治(京都女子大学)

- 9:00—9:30 憲法教育の持つ機能と国民統合への影響  
—ウズベキスタンの事例における「主権者」教育の位置づけ 木之下 健一(一橋大学大学院)
- 9:30—10:00 サモアにおける初等教育のカリキュラム改革の特質 奥田 久春(神戸大学大学院)
- 10:00—10:30 途上国の教育政策・教育制度改革に対する国際協力の有効性に関する予備的研究  
吉田 和浩(広島大学)
- 10:30—11:00 紛争後社会の分権型学校運営と社会的結束—ボスニア・ヘルツェゴビナ国を事例として  
小松 太郎(上智大学)
- 11:00—11:30 メキシコの「教育改革」にどのように接近するか  
—政治経済学的・歴史構造的視点によるアプローチ 米村 明夫(アジア経済研究所)
- 

自由研究発表Ⅲ—9

7月7日(日) 9:00—11:30

教室: 11—505

**多文化教育とシチズンシップ**

司会: 平田 利文(大分大学)

- 9:00—9:30 ベトナムにおけるASEANness教育をめぐる課題 石村 雅雄(鳴門教育大学)
- 9:30—10:00 日本における外国籍児童生徒を対象とする地方教育政策の現状と課題  
—市町村教育委員会調査の分析を中心に 栗原 真孝(鹿児島純心女子大学)
- 10:00—10:30 多文化社会の教育優先課題と多文化教育政策の展開  
—カナダ・オンタリオ州公正とインクルーシブ教育戦略を事例に 児玉 奈々(滋賀大学)
- 10:30—11:00 カナダの新移民・出稼ぎ労働者に対する英語(公用語)教育  
LINCプログラムの展開状況とその結果 関口 礼子(日本の社会研究所)
- 11:00—11:30 グローバル化がもたらす人の国際移動と教育の課題—豪州ヴィクトリア州の事例を中心に  
杉本 和弘(東北大学)
-



**Africa**

Chairperson: Nobuhide Sawamura (Osaka University)

- 9:00— 9:30 Regional Inequality in Pupil Achievement: A Case of Primary Education in Uganda  
Katsuki Sakaue (Graduate Student, Kobe University)
- 9:30—10:00 Opportunities and challenges for the implementation of teaching strategies that promotes learner-centered approach in the classroom  
Thembi C. Ndlalane (Graduate School of Education, Okayama University)  
Masakazu Kita(Graduate School of Education, Okayama University)
- 10:00—10:30 Analysis of Primary Education in Togo: The Relation between Water and Education  
Sayako Ishino (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 10:30—11:00 An Analysis of Dropout Problem at Primary Schools in Uganda  
Nasa Yamakawa (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 11:00—11:30 Impacts of Community Participation on Pupils Academic Achievement in Uganda  
Mary Rukundo (Graduate School (GSICS), Kobe University)

**Higher Education (2)**

Chairperson: Yuto Kitamura (University of Tokyo)

- 9:00— 9:30 Equitable Access to Higher Education in Vietnam: Effects of Government's Support for Low Income Students  
Shiro Nakata (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 9:30—10:00 The Relevance between Higher Education and Labor Market in Lao PDR  
Marie Kunimatsu (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 10:00—10:30 Regionalization of Higher Education in ASEAN Countries: Focused on the Functional Approach of Regionalization for Lao PDR  
Vixay Chanthasone (Doctoral student at Kobe University)
- 10:30—11:00 Who Gains the Advantages? International Student Market in Asia  
Sheng-Ju Chan (National Chung Chen University)  
Hsuan-Fu Ho (National Chiayi University, Taiwan)
- 11:00—11:30 International Collaboration and Partnerships of Higher Education in the 21st Century: An East Asian Perspective  
Akiyoshi Yonezawa (Nagoya University)
-

## 自由研究発表 IV

2013年7月7日(日) 12:30 - 14:30

---

自由研究発表Ⅳ－1

7月7日（日）12:30－14:30

教室: 11－209

ヨーロッパ（3）

司会: 柳田 雅明（青山学院大学）

- 12:30－13:00 イギリスにおけるスキルと学習の水準向上に関する政策動向  
―連立政権下における政策文書の分析から 白幡 真紀（元東北大学大学院）
- 13:00－13:30 サーマのための職業教育  
―ヨックモックのサーメ・ウインター・マーケットとサーメ教育センター  
長谷川 紀子（名古屋大学大学院）
- 13:30－14:00 英国の特別な教育的ニーズ（SEN）支援教育における地方自治体・学校間の関係  
―SEN コーディネーターを事例にして 飯田 明葉（東北大学大学院）
- 14:00－14:30 英国労働党教育政策は「第三の道」だったのか  
―コミュニティ・ジョイントアップ政府・多機関協働 谷川 至孝（佛教大学）
- 

自由研究発表Ⅳ－2

7月7日（日）12:30－14:00

教室: 11－215

アフリカ（2）

司会: 黒田 則博（広島大学）

- 12:30－13:00 コミュニティ参加と生徒の成績・学校経営の相互関係  
―マラウイのンカタベイ県の小学校における長期的な調査から 谷口 京子（広島大学大学院）
- 13:00－13:30 西南部エチオピア農村における既婚女性の就学実践 有井 晴香（京都大学大学院）
- 13:30－14:00 南スーダンの初等教育政策と学校運営  
―ジュバ市内小学校の事例 澤村 信英（大阪大学）
- 

自由研究発表Ⅳ－3

7月7日（日）12:30－14:30

教室: 11－221

東アジア（2）

司会: 南部 広孝（京都大学）

- 12:30－13:00 中国の重点大学における教養教育改革の動向―書院・学院による通識教育カリキュラムの開発  
史 媛媛（九州大学大学院）
- 13:00－13:30 現代中国大学の質保証制度―「普通高等教育学校本科教育レベル評価」を中心に  
邵 婧怡（神戸大学大学院）
- 13:30－14:00 ベトナム高等教育法の特質―中国高等教育法との比較を中心に  
近田 政博（名古屋大学）
- 14:00－14:30 中台間の留学生交流に関する考察―中国の国際教育戦略を見る一視角  
大塚 豊（広島大学）
-

---

自由研究発表Ⅳ－４

7月7日（日）12:30－14:30

教室: 11－305

**東南アジア（２）**

司会: 手嶋 將博（文教大学）

- 12:30－13:00 インドネシアの矯正制度にかんする研究  
—受刑者の社会復帰プログラムに着目して 神内 陽子（名古屋大学大学院）
- 13:00－13:30 ベトナムと中国における高等教育行政構造の比較分析  
—多数省庁による所管分担方式を中心に 関口 洋平（京都大大学院・日本学術振興会特別研究員）
- 13:30－14:00 ブレンディットラーニングを活用した留学生に対する事前教育  
—サレジオ高専とマレーシア KTJ との物理教育を事例とした展開事例— 伊藤 光雅（サレジオ高等工業専門学校）
- 14:00－14:30 現代インドネシアにおけるイスラーム指導者養成の課題  
—西ジャワのプサントレンの事例から 服部 美奈（名古屋大学）西野 節男（名古屋大学）
- 

自由研究発表Ⅳ－５

7月7日（日）12:30－14:30

教室: 11－311

**高等教育（４）**

司会: 太田 浩（一橋大学）

- 12:30－13:00 インドにおける国立大学の役割— 「2009年国立大学法」に着目して 渡辺 雅幸（京都大学大学院）
- 13:00－13:30 ドバイのフリーゾーンにおける外国高等教育機関誘致  
—質保証の二元的プロセスを中心に 中島 悠介（京都大学大学院）
- 13:30－14:00 台湾の大学院教育における「在職クラス」の導入と展開 廖 于晴（京都大学）
- 14:00－14:30 韓国の大学構造調整政策の展開と課題 尹 敬勲（流通経済大学）
- 

自由研究発表Ⅳ－６

7月7日（日）12:30－14:30

教室: 11－405

**理論・思想・歴史**

司会: 今井 重孝（青山学院大学）

- 12:30－13:00 ガーンディー教育思想における「仕事教育」理念の変遷  
—アシュラムにおける教育から国民教育への展開 河井 由佳（広島大学大学院）
- 13:00－13:30 教育のニーズ／ニーズの教育—ニーズは国際教育開発の正当化根拠たりうるか 橋本 憲幸（明治学院大学・非常勤）
- 13:30－14:00 ミュージアムの空間構成と教育プログラム—歴史展示の装置として— 横山 佐紀（国立西洋美術館）
- 14:00－14:30 学監マレーと日本の小学校建築—『文部省示諭』『小学校ノ建築』への影響 川口 仁志（松山大学）
-

---

自由研究発表Ⅳ—7

7月7日(日) 12:30-14:30

教室: 11-411

**国際教育・教育交流(3)**

司会: 秋庭 裕子(一橋大学)

- 12:30-13:00 アジアの高等教育交流における単位互換に関する研究  
—中国の大学における単位互換制度の構築について 潘 建秀(大阪大学)
- 13:00-13:30 バングラデシュ高等教育の傾向と課題—政治化、質保証、国際交流  
上別府 隆男(東京女学館大学)
- 13:30-14:00 大学生の海外留学に対する意識の形成要因—日本の四年制大学における比較分析  
武寛子(京都大学・日本学術振興会特別研究員) 正楽藍(香川大学) 杉野 竜美(神戸大学)
- 14:00-14:30 タイ人ムスリム留学生に見るエジプト留学の実態とその要因に関する考察  
カンピラパーブ スネート(名古屋大学) 鈴木 康郎(高知県立大学)

---

自由研究発表Ⅳ—8

7月7日(日) 12:30-14:30

教室: 11-511

**Southeast Asia (2)**

Chairperson: Taro Komatsu (Sophia University)

- 12:30-13:00 An Analysis of Technical Vocational College and Labor market in Lao PDR  
Sengsouliya CHANTHANAKHONE (Doctoral student at Kobe University)
- 13:00-13:30 Child Labor and Schooling Decisions in Vietnam  
Tomoko Umeno (Graduate School (GSICS), Kobe University)
- 13:30-14:00 A Consideration on Teacher Competence and Teacher Quality of Cambodia's Educational  
Context linked to In-Service Teacher Training - An Analysis from a Questionnaire Survey  
Chankea Phin (Graduate Student, Tsukuba University)
- 14:00-14:30 A Comparative study of value recognition between students and teachers: A case of the  
Philippines -How they evaluate and make a valance among universal and traditional values  
Hirofumi Nagahama (Kyusyu Women's University)

---

自由研究発表Ⅳ—9

7月7日(日) 12:30-14:30

教室: 11-519

**Development and Education**

Chairperson: Mikiko Nishimura (International Christian University)

- 12:30-13:00 How does the One Laptop Per Child Initiative Impact Children, Teachers, and the  
Community? : Findings from a Mixed-Methods Research in Mongolia  
Shinobu Yamaguchi and John Auxillos (Tokyo Institute of Technology)
- 13:00-13:30 Current trends and perceptions of ICT use at primary schools in Mongolia: Comparative  
analysis from viewpoints of school leaders and teacher  
Junko Onodera, Shinobu Yamaguchi and Javzan Sukhbaatar  
(Tokyo Institute of Technology)
- 13:30-14:00 A Comparative Study of Private and Public Schools' Textbooks of Nepal: Focusing on Higher  
Order thinking Skills Bhaila Prasad Birendra (Toyo University)
- 14:00-14:30 Increasing Access to Education through the Development of Local Capacities in the Kyrgyz  
Republic Elmira Ibraeva (Kobe University)
-

## 課題研究 I ・ II

2013 年 7 月 7 日（日） 14 : 45 - 17 : 15

## 日本比較教育学会第 49 回大会

### 課題研究 I

# 持続可能な社会と若者の参加

日時:2013年7月7日(日)午後2時45分~5時15分

場所:上智大学四ツ谷キャンパス 4号館195室

パネリスト

グローバルな趨勢と国内の動向

永田佳之 (聖心女子大学)

民主主義の持続不可能性と若者期待論

—ドイツとオーストリアにおける政治教育理解をめぐって—

近藤孝弘 (早稲田大学)

日本における開発教育・ESDの経験から

田中治彦 (上智大学)

司会

丸山英樹 (国立教育政策研究所)

### 趣旨

本課題研究では、若者の社会参加を中心に「持続可能な」社会を扱う教育について3つの報告をもとに、その可能性について参加会員とともに検証することを目的とする。

最初の報告では、教育に関する国際的な理念と国内で見られる言説ならびに教育実践の間における乖離を扱う。教育や子どもにかかる様々な国際条約やグローバル化によって求められる人材像はモデルの一つとして扱われる一方、日本国内における学校現場の環境は「参加」や「若者の参画」を常に促進しているとは言えない。例えば、「持続可能な開発のための教育 (ESD)」の実践でも、他国と比較して保守的な教育実践を展開していることが指摘できる。ここでは、持続可能な開発に関する報告書等を吟味し、持続可能な社会と若者をめぐる現状を相対化し、この古くて新しい問題である乖離について考察を深める。

続いて、民主主義が政治目標として自明視される世界の現状をふまえつつ、ドイツとオーストリアを比較しながら、それぞれの政治教育論が若者の政治参加をどう考えているかについて報告する。特に選挙年齢の引き下げとの関連から、戦後ドイツの政治体制と政治教育の基本的な関係、ならびにオーストリアが今そのドイツから何をどう学んでいるかを紹介し、それを通して日本の教育とそれを取り巻く社会的環境を分析する視点を提示することになる。

最後に、グローバルな課題への参加が本当に教育によって可能になるのか否かについて報告を行う。今日に至るまで「持続可能な開発」概念についての明確なコンセンサスが無い中、環境教育、開発教育、ESDが行なってきた教育実践において「子ども・若者の参加」は常に中心課題であり続けた。急速なグローバル化は地域社会や環境を崩し、国民の民主的な手続きによる意思決定が届かない状況を作り出した。このような状況に個人が晒される場合、先進国・途上国問わず類似の参加型学習の手法が学習者の現実理解と参加意欲の向上に寄与するのであろうか。

持続可能な社会を扱う教育は、シティズンシップ教育、公民・国民教育などを幅広く包摂し、若者の社会参加には学校教育以外の学習機会も大きく影響する。そのため、全体討論では参加者とともに意見交換を行いながら、比較教育学の視点から日本の教育・学習環境に関する整理を行うことを目指す。

## 日本比較教育学会第 49 回大会

### 課題研究Ⅱ

## 正規・非正規教育の接点（グレイゾーン）に関する国際動向

日時:2013年7月7日(日)午後2時45分~5時15分

場所:上智大学四ツ谷キャンパス 3号館123室

### パネリスト

インドにおける非正規学校の動向—デリーの無認可学校の存続と役割をめぐって

小原優貴 (早稲田大学)

中国における無認可「民工子弟学校」

植村広美 (県立広島大学)

正規学校と非正規学校の間—ブラジル人学校を中心に

江原裕美 (帝京大学)

### 司会・総括

杉本均 (京都大学) 二井紀美子 (愛知教育大学)

### 趣旨

非正規の教育とは正規の教育以外を広く指すものであるが、「正規」の概念自体が一義的な定義を許さないために、非正規教育についての国際的な議論はなかなかかみ合わない。「正規」の教育とは、一般にメインストリームの学校教育という意味で、公的機関に登録され、公的機関から認可され、公的な統制および補助を受ける教育と定義できる。しかし各国において、「登録」「認可」「統制」「補助」のそれぞれの意味する範囲は同じではなく、ここに正規と非正規のグレイゾーンが発生する。

本研究はそのグレイゾーンに着目し、カリキュラムや教育内容において、正規の学校に類似もしくは同等の教育を行いながら、諸般の事情で、公的機関からの「登録」「認可」「統制」「補助」のいずれかの条件を満たさない学校について考察する。したがって中央カリキュラムと明らかに違うものを行う、塾や私的教育、一部のオルタナティブ教育や宗教教育の体系、公的な性格は強いが目的が異なるノンフォーマル教育は、このグレイゾーンには含まれない。その特徴は、学校インフラや教員資格、児童・生徒の入学資格や教育コストなどが正規学校とは異なっているが、カリキュラムは正規のものに極力準拠し、上級の正規学校への接続が可能であるか、もしくは接続を実現しようと努力する点にある。

我が国においては、学校教育法における一条校を正規の教育機関と規定する傾向が強いので、その範囲外で、学習指導要領に準拠し、上級学校への接続を求める初中等教育機関はかなり限られている。しかし途上国を中心に、国家が公的に定義し、提供できる正規の教育制度と、社会が要請する実態としての教育要求の間には乖離がある場合があり、それを埋めるグレイゾーンの教育カテゴリーがその社会において、重要かつ意義ある機能を果たしている場合が少なからずみられる。本課題研究では、そのような正規・非正規の教育のはざまに着目し、それらの教育や学校が果たす役割、メカニズム、問題点などについて国際的な視点から分析したい。